

みんなで作る  
花巻市民劇場

第48回  
花巻市民劇場公演

原作・脚本…菅原伴耕  
脚色・演出…高橋信也

# 百姓の一分

ーひやくしよのいちぶんー

花巻市文化会館大ホール

令和6年2月24日(土)午後6時30分

25日(日)午後2時

入場料【全席自由】一般…1000円

高校生…500円

中学生以下…無料

【プレイガイド】花巻市文化会館 / なはんプラザ

正時堂 / 伊藤精 / いせん

砂田屋石鳥谷店 / 佐々長醸造

【問合せ】花巻市文化会館

0198-24-6511

花巻市文化会館自主事業

主催：花巻市

制作：花巻市民劇場実行委員会

特別協賛：花巻信用金庫

# 百姓の一分

—ひやくしょうのいちぶん—

原作・脚本…菅原伴耕

脚色・演出…高橋信也

あらすじ

時代は天保七年。

農民は引き続く凶作に苦悩する。口減らしのため自ら山に入って姿を消す年寄りや、娘を売る家も出る。

だが、お上は一反当たり一石の年貢を納めろという。その年に穫れた米より多い量だ。

亀ヶ森の喜助、長八、安儀

の松之助、小山田の文四郎、

内川目の金蔵は百姓一揆を企てる。だが、達曾部と下宮守

は三年前に企てた一揆が失敗したことから二の足を踏む。

数千人に膨れ上がった民衆

の願いは、年貢を下げ、土蔵の封印を解き、一人に二合五

勺ずつの雑穀を下すこと。

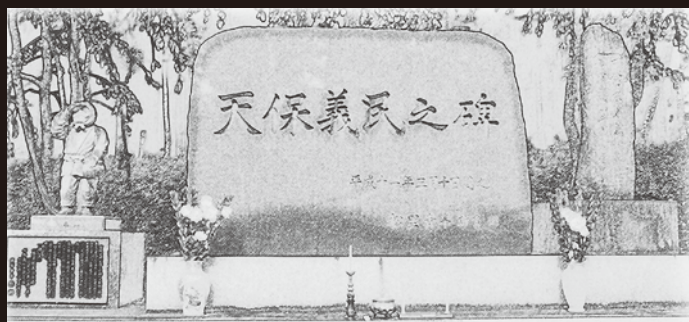
盛岡梁川川付近で一揆集団を

待ち受けていた城代家老は、

願いを聞き入れ、不問にする

と伝え、握り飯を振る舞い一

揆集団を帰らせる…



天保義民の碑

天保7年（1836年）に発生した大迫通穀改め反対一揆の指導者、切牛覚十郎と貝の淵喜太郎が打ち首獄門となった。その二人を顕彰したのが「天保義民の碑」である。大迫の国道396号にあるこの碑はまさに指導者二人が処刑され3日間さらし首にされたその場に建つ。

創造の喜びを求めて

郷土の文化や歴史をテーマに脚本・キャスト・スタッフなどすべて市民の手作りによる舞台。興味のある方、当劇場への参加を歓迎いたします。（お問合せ／花巻市文化会館 ☎0198-24-6511）

制作：花巻市民劇場実行委員会